解析エラーが発生した場合、ヘルプ、およびエラー情報ファイルを参照して原因を調査します。 解析ログ表示画面からステータスの行をダブルクリックするとヘルプ画面が表示されます。 エラー情報ファイル名の行をダブルクリックするとメモ帳でエラー情報ファイルを開きます(エラー情報ファイ ルはモデルと同じフォルダに拡張子 erl で作成されています)。

	🛃 JCMAC3 HELP	
解析ロッ゙の表示 ー 🗌	× 🖫 🗢 🔿 👘	
JCMAC3-U Version 3.0.0 解析開始 2024-05-31 11:09:44 解析パラメータ 解析手法: 直接法 ダブルクリック 時間離散 0:0.666667 *** ステータス:5 削除候補の熱伝達要素を挟み込んでいるン別ット要素番号に異常なものがる (ステータスを分ブルグルの力ますとおってハムルクを表示します) E¥icm dat¥other¥Q&A¥Q23¥Q23er1 上記ファイルにコード香梅が出力されていますので参照してください (ファイル名を容グルグルクルますとファイルの内容を表示します) エラーが発生しました 解析終了 2024-05-31 11:09:45 ダブルクリック <	■次(C) キーフーF(D) 実(S) 3) <u>Exeman Win Output</u> 1) <u>DU Autom Win Output 1) <u>DU Autom Win Output</u> 1) <u>DU Autom Win Output 1) <u>DU Autom Win Outpu</u></u></u>	:挟み込んでいるソリッド要素番 要素が「重視していないか」の重に いかり確認してください。
閉じる(<u>C</u>)	ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
	伝熱要素を挟むソリッド要素の異常状態 伝熱要素= 19114 ソリッド要素1= 10860 ソリッド要素2= 19208 111、1列 100% Windows (CRLF) ANSI	~

FEMIS でエラー情報ファイルに出力されていた要素を描画範囲選択で選択して表示します。



要素番号を表示したところ番号が重複して描画されました。

[情報]-[リスト]で重複している番号の要素リストを出力します。

🕶 ListP	age										×
7ァイル(<u>F</u>)	編集(<u>E</u>)	∿⊮7 [°] !(<u>H</u>)									
											 \sim
	ELEME	NT DATA	LIST								
ELEM.	ELEM.	BLOCK	PROP.	GEOM.	HEAT.	NUMB.		CONNI	ECTIVIT	Y	
NO.	NAME	NO.	NO.	NO.	NO.	NODE					
19114	HEAT4	779	0	0	0	4	5416	5415	5417	5418 5417	
19209	NEA14	001	U	U	U	4	9419	9410	9410	9417	
_											~
<											>

両要素とも熱伝達要素(HEAT4)であり、構成節点が(順番は違っていますが)同一になっていることから重複 していることが分かります。

【参考】外形図による確認

外形図の描画で異常形状や正しくない要素接合などを見つけることができます(ToolBox 左列 3 段目外形図ボタン)。解析を実行する前にこの機能でモデルを確認することをお勧めします。

リストページにログが表示されますので、該当要素を描画範囲選択で選択して調査、必要に応じて(外形図で警告が出なくなるまで)修正を行ってください。

TistPage	— C	x c
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) ヘルブ!(<u>H</u>)		
WARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19207ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19207ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19208ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19208ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19208ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19208ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19208ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19209ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19209ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19209ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19479ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19479ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19117ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19211ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19211ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19211ANDWARNING:ILLEGALCONNECTIVITYBETWEENELEM.19113ANDWARNING	19120 19476 19476 19114 19477 19115 19477 19115 19478 19478 19210 19116 19210 19116 19211 19480 19481 19212 19212	~ ·
		2.11

重複要素の修正は[変更]-[チェック]の「チェック内容;重複要素」で「修正を行う」にチェックを入れて実行します。

ここで注意が必要なのが、重複要素のうち要素番号の大きい方が削除されるので、重複位置で解析条件が番号の 大きい方にしか設定されていなかった場合、その部分の条件が未設定になります。必ず条件設定を確認してくだ さい。

以上